

【令和7年第1回相馬方部衛生組合議会定例会管理者挨拶】

■各施設の放射能測定値の状況について

○光陽クリーンセンターで発生する排出灰について

2月4日測定の結果、主灰が17ベクレル、飛灰が430ベクレルでした。
なお、飛灰については、12月に約148トン、1月に約208トンの処分を行っております。

○有害鳥獣焼却場で発生する排出灰について

2月5日測定の結果、主灰が660ベクレル、飛灰が20,000ベクレルでした。

○衛生センターで生産している肥料について

2月4日測定の結果、77ベクレルであり、国が肥料の流通可能な基準としている400ベクレルを連続して下回っております。

■各施設の運転及び管理状況について

○有害鳥獣焼却場について

本年度の処理状況については、2月13日現在で、358頭のイノシシの搬入があり、随時、焼却処分しております。

○光陽クリーンセンター、衛生センター、一里壇斎苑、松川浦環境公園について

定期的な保守点検作業と計画的な整備を実施するなど、各施設とも正常運転に心がけ、順調に推移いたしております。

■病院事業について

○本年1月末日までの受診状況について

入院患者は、延べ31,493人で、前年と比較して124人、率で0.4%減少しております。外来患者は、延べ78,776人で、前年と比較して1,248人、率で1.6%増加しており、インフルエンザの流行等により、主に内科の受診者が増加しております。

○院内発熱外来者 及び夜間休日の発熱患者数について

令和6年12月は、657人、うち、コロナ陽性者61人、インフルエンザ陽性者115人。

令和7年1月は、794人、うち、コロナ陽性者82人、インフルエンザ陽性者142人。

季節性インフルエンザの陽性者が、大幅に増加いたしました。

2月は、14日現在で、208人、うち、コロナ陽性者21人、インフルエンザ陽性者10人で、発熱患者数の減少で、コロナ陽性者数、インフルエンザ陽性者数ともに減少しております。

公立相馬総合病院といたしましては、高齢者や感染リスクの高い入院患者が多いことから、外来患者や訪問者を含め、病院内に立ち入るすべての方に対し、引き続き、マスクの着用と面会制限をお願いしているところです。

○クレジットカード決済の開始について

医療費の支払い方法については、これまで、現金払いのみとしておりましたが、患者のニーズに応えるため、去る2月3日より、クレジットカードによる決済を選択できるようにいたしました。

当面は、平日の受付時間のみの対応とはなりますが、今後、夜間及び休日も活用できるよう調整するなど、引き続き、患者の利便性向上に努めてまいります。